

福井県嶺南地域におけるイネヨトウ成虫の発生相

山本 公志

Kōshi YAMAMOTO: Seasonal prevalence of the purplish stem borer, *Sesamia inferens* Walker, in southern part of Fukui Prefecture

イネヨトウはイネ、ムギ類、トウモロコシおよび飼料用ヒエ類などの害虫で、北陸地域でも以前から発生していたが、イネでの被害が少ないことから、今まであまり問題視されなかった。

ところが近年、イネヨトウによるこれら作物の被害が多くみられるようになり、福井県嶺南地域では本虫に対する薬剤散布を実施する必要にせまられている。

著者は、1965年以来イネヨトウ成虫の発生消長を調査してきたので、ここに報告し、防除上の参考に供したい。

調査方法

三方郡美浜町久々子の園芸試験場の水田に設置してある予察灯(60W白熱電球)で、1965年から1984年まで、4月~10月に毎日誘殺数を調査した。

調査結果および考察

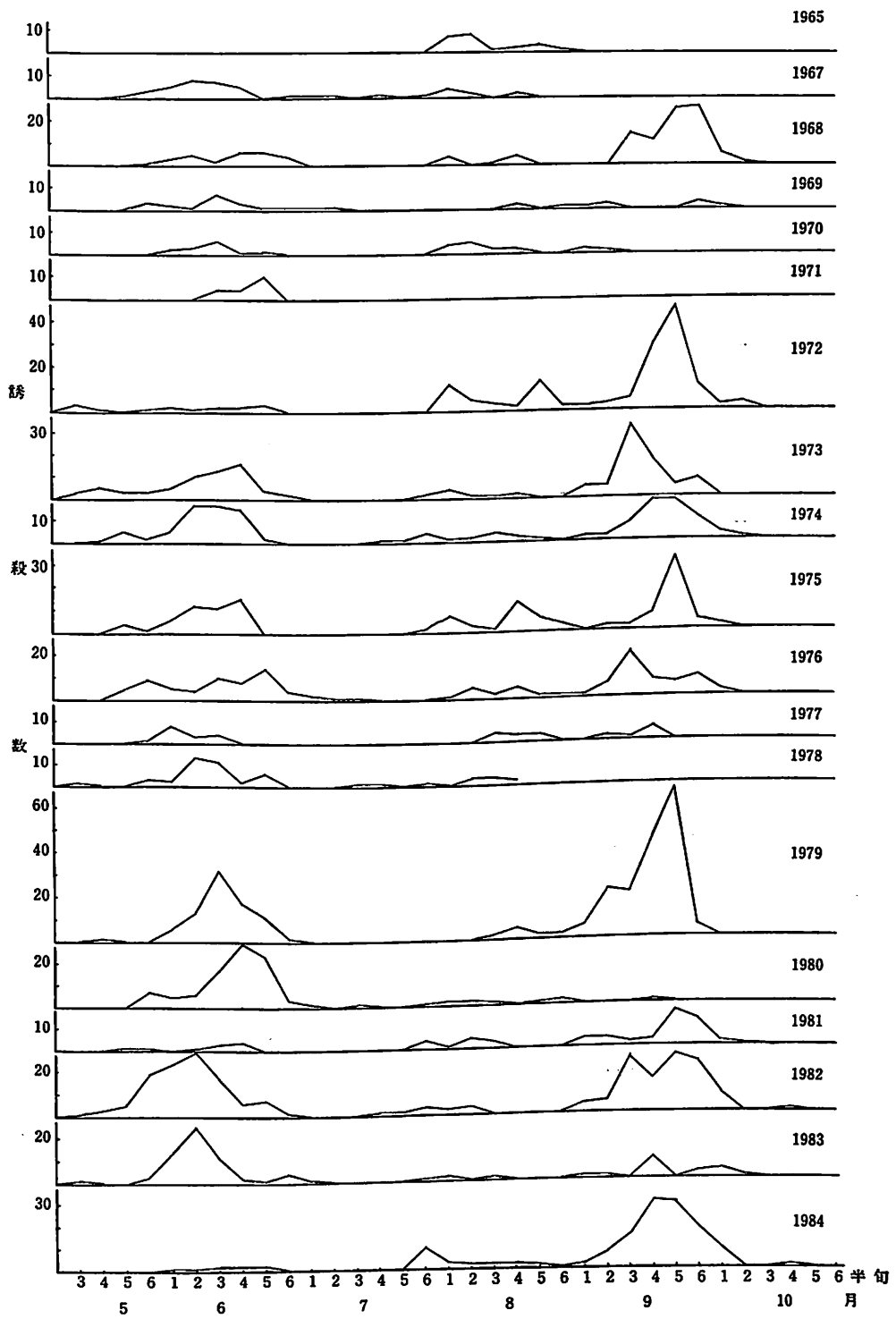
イネヨトウ成虫の発生消長²⁾を第1図および第1表に示した。当地域での年間の発生回数は3回で、平均発ガ最盛期は第1回成虫では6月14日、第2回成虫8月9日、第3回成虫9月20日であった。

世代別の誘殺数は第1回成虫と第3回成虫が多く、第2回成虫は少ない。

年次による発生相の推移をみると、第1回成虫では初飛来日、発ガ最盛期および50%誘殺日が近年やや早まり誘殺期間が長く、誘殺数が多くなってきている。第2回成虫でも初飛来日、発ガ最盛期および50%誘殺日がやや早まっている。第3回成虫では終息日が遅く、誘殺期間が長く、誘殺数が多くなる傾向がある(第2表)。発ガ

第1表 イネヨトウ成虫の発生型

年次	第1回成虫						第2回成虫						第3回成虫					
	初飛来日	最盛日	50%誘殺日	終息日	誘殺期間	誘殺数	初飛来日	最盛日	50%誘殺日	終息日	誘殺期間	誘殺数	初飛来日	最盛日	50%誘殺日	終息日	誘殺期間	誘殺数
	月日	月日	月日	月日	日	日	月日	月日	月日	月日	日	日	月日	月日	月日	月日	日	日
1965	—	—	—	—	—	—	8. 1	8. 8	8. 9	8. 28	28	22	—	—	—	—	—	—
'66	5. 31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
'67	5. 24	6. 10	6. 10	7. 8	46	31	7. 20	8. 5	8. 5	8. 20	32	10	—	—	—	—	—	—
'68	5. 29	6. 24	6. 18	6. 28	31	27	8. 1	8. 18	8. 13	8. 20	20	9	9. 12	9. 26	9. 24	10. 6	25	82
'69	5. 28	6. 13	6. 13	7. 8	42	20	8. 18	—	—	9. 8	22	6	9. 26	9. 28	9. 27	10. 4	9	4
'70	6. 3	6. 12	6. 11	6. 23	21	13	8. 4	8. 6	8. 7	8. 19	16	13	9. 1	—	—	9. 8	8	3
'71	6. 12	6. 23	6. 23	6. 25	14	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
'72	5. 12	6. 20	6. 10	6. 22	42	15	8. 2	8. 4	8. 11	8. 24	23	35	8. 30	9. 21	9. 22	10. 9	41	103
'73	5. 13	6. 11	6. 11	6. 29	48	64	7. 26	8. 4	8. 4	8. 19	25	10	9. 3	9. 15	9. 15	9. 30	28	72
'74	5. 19	6. 14	6. 12	6. 23	36	64	7. 17	8. 15	8. 4	8. 23	38	16	9. 3	9. 24	9. 21	10. 6	34	62
'75	5. 24	6. 15	6. 11	6. 20	28	49	7. 29	8. 19	8. 19	8. 27	30	35	9. 10	9. 23	9. 23	10. 5	26	49
'76	5. 23	6. 21	6. 14	7. 11	50	63	8. 5	8. 8	8. 12	8. 27	23	15	9. 5	9. 13	9. 15	10. 4	30	53
'77	5. 30	6. 6	6. 5	6. 15	17	12	8. 13	8. 20	8. 19	8. 25	13	10	9. 6	9. 16	9. 16	9. 18	13	9
'78	5. 15	6. 10	6. 10	6. 24	41	38	7. 14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
'79	5. 17	6. 11	6. 13	6. 29	44	82	8. 12	8. 19	8. 18	8. 29	18	11	9. 5	9. 22	9. 20	9. 26	22	163
'80	5. 26	6. 20	6. 18	7. 13	49	92	7. 26	8. 6	8. 8	8. 27	33	9	—	9. 17	—	—	—	1
'81	5. 23	6. 14	6. 15	6. 20	29	10	7. 27	8. 9	8. 8	8. 13	18	13	9. 1	9. 22	9. 22	10. 10	40	44
'82	5. 13	6. 5	6. 6	6. 28	47	112	7. 20	7. 31	7. 30	8. 10	22	10	9. 3	9. 15	9. 22	10. 16	44	108
'83	5. 12	6. 8	6. 8	7. 1	51	62	7. 28	8. 1	8. 1	8. 12	16	4	9. 5	9. 17	9. 18	10. 8	34	19
'84	6. 3	—	6. 12	6. 25	23	8	7. 27	7. 30	7. 31	8. 23	28	20	9. 5	9. 19	9. 21	10. 17	43	111
平均	5. 24	6. 14	6. 12	6. 28	37	44	7. 30	8. 9	8. 9	8. 23	23	15	9. 6	9. 20	9. 20	10. 3	28	59



第1図 イネヨトウの勝殺消長

第2表 成虫発生相の推移

成虫年次	初飛日	最盛日	50%誘殺日		終日	誘殺期間	誘殺数
			月日	月日			
第1回	1966~'71	6.1	6.16	6.15	6.30	30	22
	1972~'78	5.19	6.14	6.10	6.25	38	44
	1979~'84	5.21	6.12	6.12	6.29	40	61
第2回	1965~'71	8.3	8.9	8.9	8.25	23	12
	1972~'78	7.28	8.12	8.12	8.24	28	20
	1979~'84	7.29	8.6	8.6	8.19	22	11
第3回	1968~'71	9.13	9.27	9.26	9.26	14	30
	1972~'78	9.4	9.18	9.19	10.2	29	58
	1979~'84	9.4	9.19	9.21	10.9	36	74

第3表 発ガ最盛期および50%誘殺日

成虫	発ガ最盛期	統計年数	50%誘殺日	統計年数	起算日
第1回	13.94±5.80	17	12.22±4.24	18	5月31日=0
第2回	38.81±7.16	16	38.81±6.14	16	7月1日=0
第3回	19.64±4.40	14	20.46±3.46	13	8月31日=0

最盛期および50%誘殺日の変動幅は、第1回および第2回成虫で大きく、第3回成虫では小さい(第3表)。

宮武¹⁾は、イネヨトウの年間の発生回数、年平均気温が10.9°C以下、または4月の平均気温が9.4°C以下の地域では2回、それぞれが13.6°C以上、または11.1°C以上のところでは3回と報告している。敦賀測候所の年の年平均気温²⁾は14.4°C、4月のそれは12.2°Cであり、当地域でのイネヨトウの年間の発生回数は3回で、上記の報告に符号している。

イネヨトウ成虫の誘殺数は、1971年までは少なかったが、1972年頃から多くなり、1979年からはさらに増加の傾向にあった。その原因については、この予察灯の周辺は以前には水田が大半を占めていたが、1972年からそれ

らの約30%は畑地に転換されて野菜類が栽培されてきた。一方、当地域では、米の生産調整が1970年から実施され、水田面積の約10%が休耕地となって散在し、そこには雑草が繁茂した。さらに1978年からは水田転換面積が約15%に増加して、ムギ類、飼料用背刈りトウモロコシおよびヒエ類が多く栽培されるようになった。これら雑草の繁茂や本虫の好適寄主作物の栽培が増えたことが誘殺数の増加に関係していると考えられる。

第1回および第2回成虫の初飛来日、発ガ最盛期および50%誘殺日がやや早まる傾向にあるが、これには、水田転換畑地の増加によるイネヨトウ生息地の気温や湿度など気象上の変化が関係しているものと推察される。

摘 要

福井県嶺南地域でのイネヨトウは年に3回発生し、平均発ガ最盛期は第1回成虫では6月14日、第2回成虫8月9日、第3回成虫9月20日であった。

近年、第1回および第2回成虫では発ガ最盛期がやや早まり、第1回および第3回成虫では誘殺数が多く、誘殺期間も長くなる傾向がある。

引用文献

- 1) Miyatake, M. (1922) Ecological studies on the purplish stem borer, *Sesamia inferens* Walker in Japan (Lepidoptera: Noctuidae). Sci. Rep. Matsuyama Agr. Coll. 8: 1~37.
- 2) 福井農試 (1963~1984) 農作物病害虫発生予察年報.
- 3) 福井地方気象台編 (1976) 福井県の気候. 137, 日本気象協会 福井支部, 福井, 307pp. (1985年8月22日受領)